

Ⅲ デジタルイノベーションの推進

(114,576 千円)

ひろしまデジタルイノベーション推進事業

(県・自 114,576 千円)

【事業のねらい】

<p>目的 (目指す姿)</p>	<p>○デジタルによる経営/技術課題の解決支援を通じて、デジタルものづくり技術 (MBD、CAE、DX 等) の活用促進策が効果を上げている これにより、非効率なものづくりプロセスが改善され、生産性の大幅な向上と新しい価値を創出する余裕が生まれている。</p> <p>○デジタル技術の導入時期の研修やその後の活用の高度化の際の研修プログラムが幅広く準備されており、企業は各々の状況に 合致したニーズで容易に受講でき、効率的に企業内でデジタル技術の活用を進めていける人材が育成され続けている。 ・デジタル技術のベースを保有し、MBD の考え方をものづくりプロセスに応用できる人材、CAE を活用したバーチャル開発ができる人材</p> <p>○地域企業に向けたデジタル技術を活用するためのプラットフォームが準備されており、着手の容易性、活用の継続性が担保されている</p> <p>○上記の事業を通じて、地域企業の国際的な競争力、革新力が向上している。</p>
<p>現状と課題</p>	<p>(1)現状 ○第4次産業革命の進展の中、地域中小企業のデジタル技術への適合が遅れている。 ○製造業のグローバル化で、地域製造企業の品質、コスト、納期における国際競争力は下がっている。 ○従来のデジタル技術を活用しないモノづくりの手法では、従来事業の競争力強化や新価値創造に取り組む余裕ができていない。</p> <p>(2)課題 ○デジタル技術を活用したモノづくりを実施するためのさまざまな環境を提供し、利用開始のハードルを下げることで、活用の高度化を支援していく必要がある。 ・経営課題/技術課題に対して、経営者/開発従事者の双方において、ベースとなるデジタル技術やMBD/CAE を自社で活用する必要性を理解していただく必要がある。 ・デジタル技術のリテラシーを保有する人材、MBD/CAE を活用し業務を改善できる人材を効率的に育成するプログラム、支援措置が必要がある。 ・高性能計算機能や、多種に及ぶソフトウェアは高額であり、デジタルものづくりの仕組みの導入時には、それらを安価で容易に利用できる仕組みや環境が必要である。</p>

【事業概要】

◇地域企業の抱える課題、デジタル技術の活用ステージ、企業規模に応じて、以下の3つの事業を柔軟にカスタマイズしてステップアップを支援する。

- (1) デジタル活用のステージをより高度な状態へのステップアップを促す技術課題解決支援
 - ・デジタル技術に係る拠点として地域のモノづくり企業の技術課題を広く拾い上げ、デジタル技術による解決を支援し、活用を促進する。
- (2) デジタル技術を活用し、モノづくりプロセスの変革を実行できる人材を育成するための、容易に受講できる研修プログラムの企画と実施
 - ・MBD の基本的な考え方を理解し、開発プロセスを俯瞰し改善につなげられるきっかけを与える研修
 - ・CAE の価値と限界を理解し、モデルによるエンジニアリングにより効率的なモノづくりプロセスに貢献できる人材を創出する研修
 - ・デジタル技術活用のきっかけと基礎体力をつけていただくための研修（啓発セミナー、マンスリーウェビナー、DX リテラシー教育 等）
 - ・リモート利用、オンライン/オンデマンドなどを積極的に活用した研修
- (3) デジタルものづくりに必要な高性能計算機及びソフトウェアの安価な利用環境の提供

	概要
(1) 技術課題解決支援（デジタルものづくり技術の活用レベルのステップアップ支援）	<p>○地域企業の課題に対して、デジタル技術を活用した解決を支援する。（通年で実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公設試、産業支援機関及び大学等と連携して支援を行う <p>○企業ごとの MBD/CAE 活用レベルに応じた支援メニューを提供し、活用レベルをステップアップさせる。</p>
(2) 人材育成研修 ① MBD 関連研修 ② CAE 研修 ③ デジタルものづくり塾 CAE 塾 ④ デジタル技術利用促進	<p>○デジタル活用によるモノづくりの変革に必要な研修等を体系的に実施（広島県内企業、一部全国展開）</p> <p>① MBD プロセス研修、MBD アドバンスド研修、MBD エキスパート研修等（通年でそれぞれ1～3回実施）</p> <p>② 解析技術毎のソフト操作の基礎・応用技術を習得する研修及び現象理解を深める理論研修（地域企業の個別のニーズに対応できる研修の実施等）（通年でそれぞれ1～2回実施）</p> <p>③ 長期間の実践型グループ研修（解析技術を用い、基礎力の強化から実際の技術課題の解決も含む実践研修）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産領域から設計領域へ対象を拡大して人材を育成（第1四半期開講～第4四半期まで） ・技術領域も地域企業のニーズに応じて拡大 <p>④ 啓発セミナー、マンスリーウェビナー、DX リテラシー教育 等（通年で様々なテーマで随時開催）</p>
(3) デジタル技術を活用する環境の提供（高性能計算機能・ソフトウェア）	<p>○広島県の企業・研究機関向けに安価で利用できる高性能計算機能の提供（スパコン及び高性能 WS の利用サービス）</p> <p>○シミュレーションの目的に応じたソフトウェアを複数整備</p> <p>○利用システムや計算機解析の技術的なサポート（すべて通年で実施）</p>

【事業目標】

	目標												
(1) 技術課題解決支援 MBD/CAE 活用企業数 (MBD/CAE の活用ステップアップ支援)	<p>○技術課題解決支援：30 件以上</p> <p>○うちセンター利用開始案件：6 件以上</p> <p>○R5 初から R10 初までの 5 年間に以下の企業数のステップアップを図る</p> <p>※ () カッコ内は R6 年度のステップアップ数目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>導入準備から活用フェーズへ</th> <th>高度化フェーズへ</th> <th>高度活用企業へ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車関連</td> <td>+17社 (+3社)</td> <td>+16社 (+3社)</td> <td>+2社 (+0社)</td> </tr> <tr> <td>自動車以外の産業</td> <td>+47社 (+9社)</td> <td>+17社 (+3社)</td> <td>+3社 (+1社)</td> </tr> </tbody> </table>		導入準備から活用フェーズへ	高度化フェーズへ	高度活用企業へ	自動車関連	+17社 (+3社)	+16社 (+3社)	+2社 (+0社)	自動車以外の産業	+47社 (+9社)	+17社 (+3社)	+3社 (+1社)
	導入準備から活用フェーズへ	高度化フェーズへ	高度活用企業へ										
自動車関連	+17社 (+3社)	+16社 (+3社)	+2社 (+0社)										
自動車以外の産業	+47社 (+9社)	+17社 (+3社)	+3社 (+1社)										
(2) 人材育成研修 ① MBD 関連研修 ② CAE 研修 ③ デジタルものづくり塾 CAE 塾 ④ デジタル技術利用促進	<p>○実施テーマ：57 テーマ以上、参加者数：1,075 名以上（R5 年 12 月末 39 テーマ、1,414 名）</p> <p>① 実施テーマ：17 テーマ以上、参加者数：350 名以上（R5 年 12 月末 11 テーマ、202 名）</p> <p>② 実施テーマ：18 テーマ以上、参加者数：380 名以上（R5 年 12 月末 17 テーマ、1,127 名）</p> <p>③ 実施テーマ：12 テーマ以上、参加者数：95 名以上（R5 年 12 月末 11 テーマ、85 名）</p> <p>○実施テーマ：10 テーマ以上、参加者数：250 名以上（R5 年 12 月末 8 テーマ、189 名）</p>												
(3) デジタル技術を活用する環境の提供（高性能計算機能・ソフトウェア）	<p>○利用日数 1,000 日以上（企業が各ワークステーション等を利用する日数） 【開所日利用上限の 50% 相当：1,000 日 ÷ 250 日 × 8 台 × 50%】 （R5 年 12 月末 882 日）</p> <p>○センター利用の新規技術テーマ：15 件以上（R5 年 12 月末 11 件）</p>												